

JA新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌

えすぽわーる

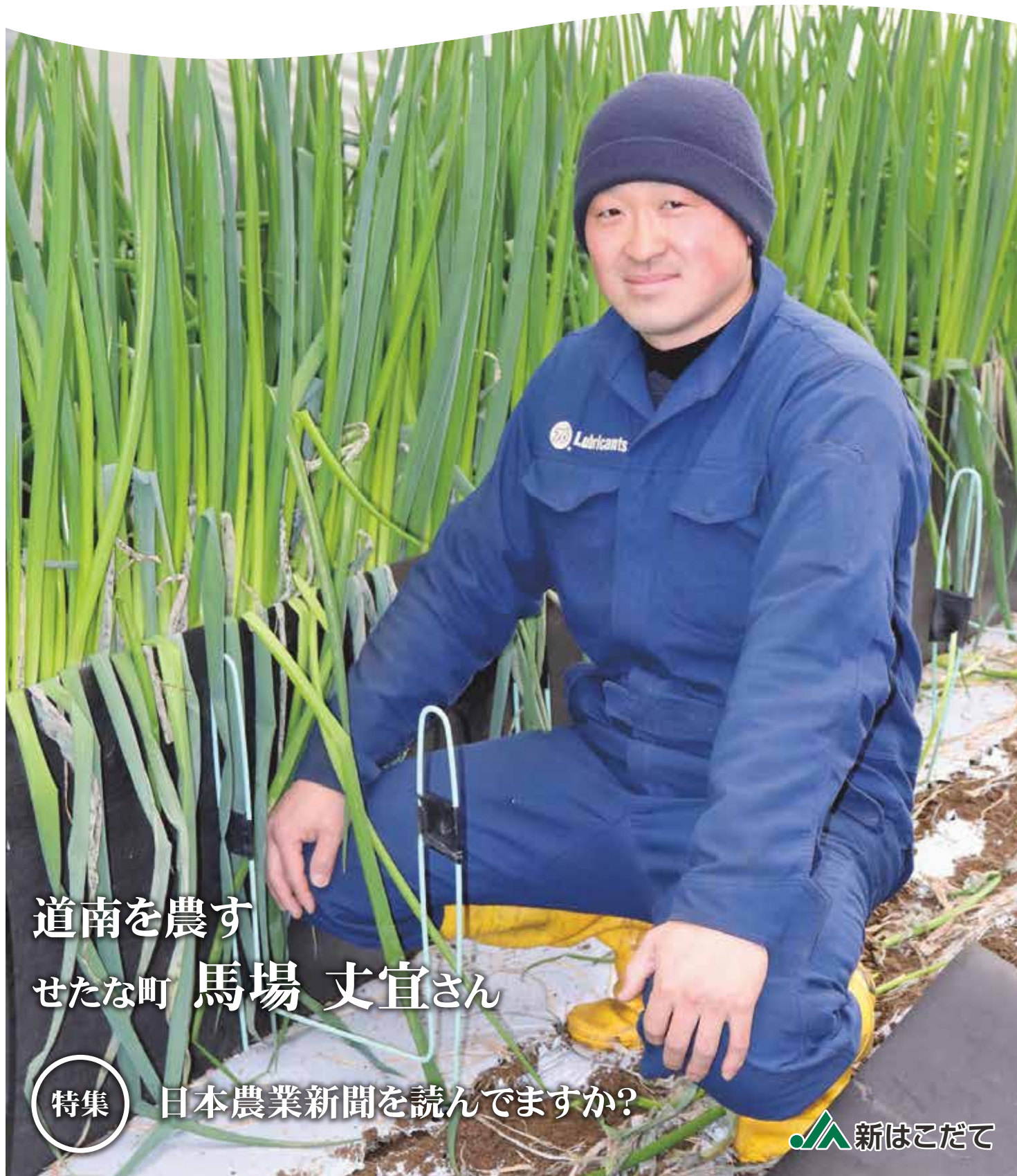
新函館

3

March 2018

No.

187



道南を農す
せたな町 馬場 丈宜さん

特集

日本農業新聞を読んでいますか？

 新はこだて

- 2 道南を農す
若松 馬場 丈宜さん
- 4 特集
日本農業新聞を読んでいますか？
- 6 となりの農家さん
大野 渋谷 浩之さん
八雲 柴田 真吾さん
- 7 トピックス
平成30年度LA共済推進決起大会
落部支部青年部「もちつき囃子」披露 他
- 10 組合員懇談会開催結果報告
- 13 JAグループ通信
- 14 インフォメーション
理事会報告等
- 15 みんなのまるめ郎広場
- 16 料理楽しくステップアップ！
キャベツとツナのサラダ〜アンチョビ風味

イチオシの一品！



地酒「北斗発祥」

北斗市の生産者により生産された酒造好適米「慧星」を使用して作られた純米吟醸酒です。

香りが豊かで味に深みがあり、すっきりとした味わいが特徴です。

720ml 1,600円(税込)
お問い合わせ／あぐりへい屋
TEL:0138-77-7779



軟白ねぎの皮を剥く丈宜さん。出荷は11月から4月中頃まで続く。皮を剥く作業と箱詰め作業は主に母の早苗（さなえ）さんとパート従業員の2名がメインで行っている。



奥さんの真紀さんが手作りした「ばば農園」の看板。最近、完成したシイタケを選別する倉庫に設置されている。丈宜さんもお気に入り。



これから芽が出る原木シイタケの「ほだ木」を棚に載せる作業をする丈宜さん。今年は寒く、シイタケが出荷できる大きさになるまでにも日数が掛かっているとのこと。

丈宜さん自身も学生時代はバドミントンをしており、休みの日には大会の応援だけでなく、今でもたまに子供たちとバドミントンをすること。



せたな町 北檜山区

ばば 丈宜さん
たけのり かず たか 一剛さん

水稻	6.8ha
大豆	2.1ha
馬鈴薯	6.4ha
軟白ねぎ	0.2ha
ブロッコリー	2.1ha
シイタケ	0.25ha
人参	3.5ha

「好きだからこそ頑張れる」

農業に真摯に向き合う農業者

農業が好き

馬場丈宜さんは二人兄弟の次男で、高校卒業後、道立農業大学校で4年間勉強してから実家に戻り、就農した。農作業の手伝いはしていたので、就農してからの作業的な問題は特に無かったとのこと。

農業をして良かった点を聞くと「農業は好きでやっているの、特に無いが、挙げるとしたら休みを自分で調整できることかな」と話す。

現在は父の喜市さんから経営を引き継ぎ、経営主としても奮闘する毎日。パートさんに一年を通して働いてもらえるように就農してから新たな作物の導入にも取り組んだ。「作物の収穫時期なども重ならないよう、計画的に作業をしています」と作業上の工夫を語る。

一年を通して働き、ほとんど休みのない中でも長男の雄代くんと次男の絢生くんのバドミントンの大会の時には仕事を休み、奥さんの真紀さんと応援に行くなど、家族との時間も大切にしている。

所得向上に向けて思案中

最近では労働力の確保にも苦労していることから、馬鈴薯を加工用向けの出荷に変え、今まで選別に時間が掛かっていた分を他の作業の時間に使うようにするなど、今ある労働力を有効的に使うように改善に取り組んでいる。「今後は、作る作物を選定することも考えています」と話す。

所得向上に向けては、現在、作付している品目の利益率を上げていくほか、ハウス作物に力をいれていくことを検討しているとのこと。

若松ブロッコリー部会では部会長を務めている丈宜さん。部会として、生産者と作付面積が増えないこと、夏場の秀品率向上などが課題と生産組織活動にも一生懸命。

「一年間働くことは力ラダ的に大変」と話すものの、好きな農業を続けていくことに喜びを感じながら、農作業に汗を流す日々は続く。

当JAの活動内容なども掲載されています!!

農業新聞には、各JAの取り組み内容などが掲載されており、当JAの取り組み内容なども掲載されています。

掲載されているものは、道南地区を担当している農業新聞記者や本店の広報担当者、各基幹支店にいる広報通信員が取材しています。北海道版(地方版)の紙面では、各地域でのイベント・各組織活動・当JAの取り組み内容などが掲載されておりますので、ぜひ、ご覧になってください!!



このように掲載されています!!

2017年11月20日 掲載記事



2017年4月8日 掲載記事

2017年8月15日 掲載記事



2017年5月17日 掲載記事

その他にも、さまざまな内容が掲載されています!!

【営農販売・直売に役立つ】情報

営農ひと工夫【総合営農面・随時掲載】

生産者の独創的な工夫を紹介。どれくらいの時間や資材、人件費が節約できるのかを載せ、今すぐに役立つ情報です。

私の経営【総合営農面・火曜付】

大規模な法人から、個人経営の方まで、農業経営者を紹介。現在の経営状況や経営で苦労したこと、今後の展望などを掲載しています。

1ヵ月予報【天気面・土曜付】

地域別に、1週間ごとの天気を1ヵ月先まで予報するコーナー。「お役立ち気象情報」を活用すれば、作業の日程を決めるためにも役立ちます。

インターネットでも閲覧できます!

日本農業新聞の公式ホームページでは、1日20本程度の記事を毎日掲載しています(日曜と特定の休みは除く)。

日本農業新聞 で検索するか

「<http://www.agrinfo.co.jp/>」にアクセスするとご覧頂けます。

購読していない方については、お近くの基幹支店の営農担当部署にご連絡頂ければ、すぐに購読できますので、ご連絡下さい。

◆購読料 2,520円(税込)/1ヶ月

【くらし豊かに】【明日を読む】情報

女の階段【くらし面(月曜のみ読者面)・月～金曜付】

1967年から続いている心温まるコーナーです。農業・農村に暮らす女性たちに共通する悩み・出来事をつづっています。

くらしの薬膳

健康に関心がある、介護食などで悩んでいる人に、手軽で楽しくできる薬膳の作り方を紹介します。

きょうの一品

毎日の晩ごはんの献立を考えるのは大変なこと。全厚連栄養士協議会がレシピを提供しているので健康的です。記事を切り抜けば料理本になります。

【農政・JAを知る】情報

農政情報などを詳しく【総合面(1～3面)】

ニュースや地方の話題を深掘りした読み応えのある紙面です。「論説」は本紙ならではの視点で問題提起しています。

だから青年部【JA面・月曜付】

JA青年部員が取り組んでいること、課題や目標、仲間づくり、地域との連携、ポリシーブックの実践などを紹介します。

キラリ女性部

JA女性部や部員が取り組んでいること、仲間づくり、食農教育、課題や展望を紹介します。

特集

日本農業新聞を読んでいますか?

「日本農業新聞」は、国内唯一の日刊農業専門誌でJAグループの総合情報紙です。紙面の内容は営農技術や農政に関する情報だけではなく、くらしや文化、ごらく情報など幅広い内容となっています。

今回は、様々な情報が掲載されている「日本農業新聞」について、簡単にご紹介いたします。



営農に役立つ情報が満載!!

2018年2月8日 13面掲載記事



所得向上や経費節減に役立つ情報、先進農家の経営事例や農家が考案した営農アイデア、研究機関の最新成果など、今後の営農に活かせる情報が掲載されています!!

くらしを豊かにする情報も載っています!!

2018年2月8日 11面掲載記事



営農技術等だけではなく、普段の生活に役立つ情報も掲載されており、女性が読んで楽しめるコーナーもたくさんあります!!



市況情報も一目でわかる!!

2018年2月8日 8面掲載記事



全国主要市場の青果物、畜産、花卉などの市況情報が掲載されており、農産物の売れ筋情報やマーケットの動きを把握できます!!

忙しくて読む時間がない場合にはここをチェック!!



その日のニュースの見どころをここで紹介しています!!



2018年2月8日 1面掲載記事



「がんばるぞー」の掛け声で右手を高く挙げる出席者

共済

共済課は2月9日、函館市内で「平成30年度JA共済推進決起大会」を開き、関係者を含めて34人が出席した。

初めに輪島組合長が「平成30年度も組合員を始め地域住民の皆さまのためにますます力を発揮し、一生懸命頑張ってください」と激励。

続いて、優勝しA表彰では、組合長賞に知内支店の小澤祐司係長、共済連札幌支所長賞に大野支店の佐藤公紀職員、専務賞に厚沢部支店の日沼朱香職員、常務賞に八雲支店の大森利久係長の4人を表彰し、賞状と記念品を贈呈した。

最後に厚沢部支店の近藤裕美職員が目標達成に向けて決意表明をした。



目標の達成に向けて士気を高める
平成30年度
JA共済推進決起大会

JA共済推進決起大会

えすぽわーる TOPICS

トピックス



管内各地の旬な情報をお届けします。



組合長賞を受賞した小澤係長



青年部綱領を朗唱する出席者ら

知内



もちつき囃子を披露する青年部員

八雲



「もちつき囃子」に大喜び
JA新はごだて北渡島地区
青年部落部支部

北渡島地区青年部落部支部は1月10日、八雲町の老人ホーム「ケアハウスひまわり」で「もちつき囃子」を披露した。

部員の「もちつき囃子」に入居者らは手拍子をするなど、盛り上がりを見せ、楽しんでいました。

同青年部の長谷川公彦部長は「今回の餅つきは私たちにとっても貴重な体験になった。楽しんでもらえたので、頑張った甲斐もありました。機会があればまた行いたいです」と話した。



活発な議論が交わされる
第51回JA新はごだて
知内地区青年部通常総会

知内地区青年部は1月23日、知内支店会議室で第51回通常総会を開いた。

総会では平成29年度の事業実績報告や平成30年度事業方針など、全議案を承認。

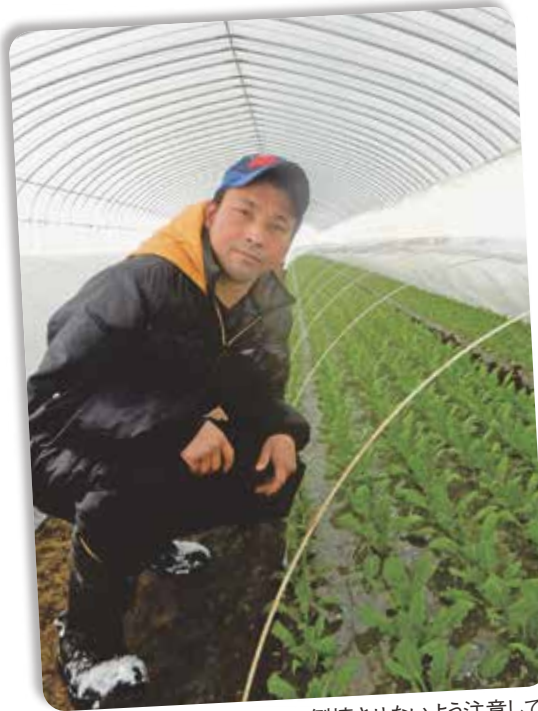
平成29年度事業実績報告では、各種勉強会やJA夏まつりなどの実施を報告した。

平成30年度事業方針(案)では、分科会や日頃の作業技術を競う競技大会を例年通り開催することとしている。

大野

寒暖差が甘味を生む

渋谷 浩之さん(39) 白かぶ



▲「今年は雪も多く、ハウスを倒壊させないように注意しています」と渋谷さん

北斗市細入地区の渋谷浩之さんは、ハウス6棟で白かぶを栽培している。「時間に余裕を持って収穫作業ができる」ということで栽培を始めてから、既に10年以上が経つ。

今年は雪と寒さで生育が遅れており、昨年12月に播種したものは、まだ二重被覆の状態。「寒暖差が大きければ甘味が増すので楽し

みではあるが、玉割れの恐れもあるので心配です」と話す。

収穫は4月上旬頃から約1カ月かけて順次行っていく予定。「今年は難しい気候になるかもしれないが、細心の注意を払っていきたい」と語ってくれた。

取材 大野支店 尾崎 真吾



～農家の現場へズームイン～ となりの農家さん

八雲

未来の自分の為に

柴田 真吾さん(32) 軟白ねぎ



▲「品質を確かめながら作業する」柴田さん

八雲町入沢地区の柴田真吾さんは、11月上旬から軟白ねぎの収穫作業に励む毎日を送っている。現在、日量で約40ケースを収穫しており、4月末まで作業が続く。

農作業を行う上で「体調管理」に注意しており、「体調を崩して作業に遅れがないよう、日々の体調管理には気を付けている」と話

す。

また、「地元の青年部の仲間と意見交換をしながら多くを学び、品質を良くしていきたい」と意気込んでいる。

今後の経営について、「多くの活動から知識を学び、自分が10年後に満足できているように日々精進していきたい」と語ってくれた。

取材 八雲支店 田井 健吾



試食をしながら審査する審査員

知内



サイコロステーキを買い求める来場者

知内



挨拶をする山本新部長

大野



出席者全員による青年部綱領の朗唱

七飯

最高賞に「幻のみそキャラメル」
第14回JA女性部
ふれあいフェスティバル

木古内支店女性部は1月25日、第14回JA女性部ふれあいフェスティバルを木古内町中央公民館で開いた。牛乳料理、漬物、特産物料理部門（みそ）などで計202点が出品された。

審査の結果、最高賞の町長賞は、特産物部門の「幻のみそキャラメル」が選ばれた。

同女性部の森永尚美部長は「特産物のテーマを今年は『味噌』としたが、来年は新たなテーマとし、引き続き開催していきたい」と話した。

伝統の祭りでは「こだて和牛」をPR
第188回
寒中みそぎ祭りに出店

木古内町の伝統行事「第188回寒中みそぎ祭り」最終日の1月15日、町内みそぎ公園で「こだて和牛・グルメ魅了フェア」が開催され、町のブランド牛肉である「はこだて和牛」をPRした。

和牛の生産者やJA職員ら11名が大型の焼き台6基を使い、サイコロステーキを焼きあげ、来場者へ販売した。

当日は雨が降っていたにもかかわらず、テント前には長蛇の列ができ、1皿300円のサイコロステーキが次々と売れた。

新部長に山本さん
第11回JA新はこだて
北斗地区青年部通常総会

北斗地区青年部は1月26日、函館市内で第11回通常総会を開き、来賓も含めて28人が出席した。

総会では平成29年度の事業経過報告や平成30年度事業計画など、全議案を承認した。

総会終了後には懇親会が開催され、今回の役員改選で新たに部長に就任した山本隆久さんは「メリハリをつけて、共に青年部活動を楽しみ、意義のあるものにしていきたい」と思いを述べた。

地域交流などの事業計画（案）を承認
第11回JA新はこだて
七飯基幹支店地区青年部通常総会

七飯基幹支店地区青年部は1月29日、森町のグリーンピア大沼で第11回通常総会を開き、来賓も含めて27人が出席した。

総会では平成29年度の事業報告や平成30年度事業計画書（案）など、全議案を承認した。

同青年部の松倉史和副部長は「近年は異常気象により、作物への被害も多くなっている。当青年部は部員間交流を大切に、地域交流と農業の発展を充実させていきたい」と意気込みを述べた。



収入保険制度について説明を聞く関係者

研修会



「ふっくらんカレー」を食べる児童と関係者

厚沢部



式辞を述べる落合部長

大野



挨拶をする大嶋組合長

知内

担い手の育成・確保に向けて
檜山管内指導農業者・農業士会及び
担い手育成・支援実務担当者合同研修会

乙部町民会館で1月24日、檜山管内指導農業者・農業士会及び担い手育成・支援実務担当者合同研修会が行われ、檜山管内の指導農業者・農業士のほか、関係機関の職員らが参加した。

研修会では、NOSAーみなみ道南支所西部事業所の若狭千尋事業課長が収入保険制度について説明。若狭課長は「経営品目、作付面積のウエイトなどを考慮し、細かくシミュレーションして判断してもらいたい」と呼びかけた。

おいしい「ふっくらんカレー」
学校給食に舌鼓

厚沢部町米作振興会が寄贈した「ふっくらんこ」を使った学校給食のカレーが1月24日、町内小中学校に提供され、町やJA関係者にも振る舞われた。

この日は、町内小中学校などの給食用として、カレー330食を調理。同町の松橋道雄副町長、山田智穂同会長らが厚沢部小学校を訪れ、同校3年生14人と一緒に「ふっくらんカレー」を味わった。

太田塔也君は「ふだんよりもおいしい気がする」と笑顔で口に運んでいた。

合併に向けて、発展的解散
JA新はこだて上磯支店女性部第60回通常総会
解散の儀及び設立60周年記念祝賀会

上磯支店女性部は1月30日、第60回通常総会と解散の儀及び設立60周年記念祝賀会を函館市内で開いた。

同女性部は昭和32年に発足。年々部員数も減少してきたことから60周年を機に発展的に解散した。

初めに、第60回通常総会を行い、続いて行われた解散の儀では、歴代の部長へ感謝状を贈呈したほか、記念誌で60年間の活動を振り返り、解散宣言をして60年の歴史に幕をおろした。

数量、金額ともに過去最高
第47回知内町
ニラ生産組合通常総会

知内町ニラ生産組合は1月22日、知内支店会議室で第47回通常総会を開いた。

開催にあたり、同組合の大嶋貢組合長は「昨年はバラ出荷の初年度ということとで不慣れな部分もあったが、無事に終わることができた。先人達への感謝を忘れずに、これからも安定生産に向けて取り組んでまいりたい」と述べた。

総会では、平成29年度事業実績で数量、金額ともに昨年を上回り、過去最高の結果となったことなどを報告した。

組合員懇談会 開催結果報告(要約版)

◆開催期間：平成29年12月4日（月）～12月6日（水）

◆開催状況：12地区・8会場で開催

◆出席状況：対象者数2,262人、出席者数178、出席率7.9%

※要約版でありますことを予めご了承ください。



◆…回答

【総務部関係】

1. 旧Aコープ知内店・建物の今後の対応を教えてください。
2. Aコープ知内店の閉店や、今回の乙部支店の廃止など、採算が合わない閉店となるのか。
3. 農協は組合員の利益のため、奉仕の原則のもと事業を行っております。また、利益が出た場合は組合員に還元していきます。乙部支店の場合はスタンド併設となっている金融店舗を閉店します。Aコープ知内店は施設の老朽化が著しく、維持が困難であったため閉店となりました。
4. 農協は組合員の利益のため、奉仕の原則のもと事業を行っております。また、利益が出た場合は組合員に還元していきます。乙部支店の場合はスタンド併設となっている金融店舗を閉店します。Aコープ知内店は施設の老朽化が著しく、維持が困難であったため閉店となりました。

4. 営農畜産は専門知識が必要なので、単年度ごとに異動させないで、よく考えて職員配置を行って欲しい。また、専門知識の習得等、職員教育もしっかりと行って欲しい。
5. 今年の人事異動について、ベテラン職員も新人職員も同じ1人としてみているのか。現場では弊害も出ている。
6. 今年の人事異動で、長距離の異動となった職員がいるが、基幹支店内であれば分かるが移動距離を考慮願いたい。
7. これからという将来性のある若い職員が辞めていくが、その理由をよく検証し、辞める職員が続かないようにして欲しい。

◆(要望)

【信用共済部関係】

1. 各支店の金融店舗等の廃止についてのプロセスを聞きたい。
2. 店舗再編にあたり、当該支店の状況を早めに説明することにより、収支改善ができる場合もあると考えてるので、早めの対応を検討願いたい。
3. 素牛延払制度に替わる新資金の内容について説明願いたい。
4. 新資金は経営に特化した使途の幅が広がった対策資金です。活用方法によっては、利用者の負担軽減につながると思います。

◆(要望)

3. 素牛延払制度に替わる新資金の内容について説明願いたい。
4. 新資金は経営に特化した使途の幅が広がった対策資金です。活用方法によっては、利用者の負担軽減につながると思います。

減に繋がると考えます。

4. 債務完済の際に案内が送付されて来るが、案内だけではなく、担保抹消手続き等のサポートをしてもらいたい。

◆ 受託資金の完済の場合だと思いますが、これまでも相談の都度、担保抹消のお手伝いをしておりますので、今後必要なサポートをさせていただきます。

【農業振興部関係】

1. 農家人口の減少について対策はあるのか。新規就農者などの取り組みはしているか。

◆ 道南地区で2月から3月に新規就農フェアを開催する予定があります。当農協も各市町と連携しながら、取り組みを進めていきます。

2. 農作業の機械化も限界にきており、労働力不足が深刻化している。対策はあるか。

◆ 外国人技能実習生の受入を進めるほか、法人化やコントラ組織の設立等も選択肢として考えられますが、地域の問題であることから、農協としては地域で協議する場を作り、関係機関と連携しながら情

報を提供する役割を担います。

3. 賦課金の見直しについて、見直さなければならぬ理由は何か。
4. 平成22年に賦課金の全面改訂を行い、「10年はこの賦課金でいきたい」としており、間もなく10年が経過することから、見直しの検討を始めました。まずは、賦課金の使い道として地域振興費や組織助成金のあり方を検証することから取り進めます。

4. 賦課金の見直しについて、データなり情報がない中で意見が出にくいので、次回の懇談会でデータなどを出して欲しい。

◆(要望)

5. 賦課金はどういう性質のもので、どのように使われているのかについて、組合員の理解が薄いように感じる。

◆ 平成28年度実績では地域振興費に31%、組織助成に50%、残り約2割は営農指導経費として使用しています。賦課金の見直しにあたっては、時間をかけながら組合員の理解を得られるように取り進めたいと思います。

6. 今年の人事異動で、長距離の異動となった職員がいるが、基幹支店内であれば分かるが移動距離を考慮願いたい。
7. 新規就農者の営農指導はどうなっているのか。
8. 廃プラ業者選定にあたり、なぜ協議会に相談なく決めたのか？ゴミに対する支出は敬遠されやすいので単価についてはより良い方向で検討頂きたい。
9. 第5次振興計画における「所得20%向上」取組の進捗状況を教えてください。
10. 八雲のみならず、酪農ヘルパーが足りない現状で、JAなど外部団体に委託する意見も出ているが、JAとしてどう考えているか。
11. JA事業の中に共撰施設と同等な位置づけで、酪農ヘルパーを入れてほしい。JAとして人員を確保する仕組みを作っていただけないか。
12. 酪農ヘルパー募集にあたり、組合の名前では来ない。JAというネームバリューで募集すれば人の集まり方が違つと考える。JAで採用し、ヘルパーのセクションに

◆ 水稲では農薬散布減、酪畜では難防除草地更新による良質粗飼料の確保・専用種では分娩間隔の短縮を図る為のデータ提供などの取り組みをしています。今後、各地

区において1年目の成果検証を行い、2年以降の取り組み強化につなげて参ります。

10. 八雲のみならず、酪農ヘルパーが足りない現状で、JAなど外部団体に委託する意見も出ているが、JAとしてどう考えているか。
11. JA事業の中に共撰施設と同等な位置づけで、酪農ヘルパーを入れてほしい。JAとして人員を確保する仕組みを作っていただけないか。
12. 酪農ヘルパー募集にあたり、組合の名前では来ない。JAというネームバリューで募集すれば人の集まり方が違つと考える。JAで採用し、ヘルパーのセクションに

◆ 各ヘルパー組合の考え方もあり、JA傘下に置くことで利用者負担が増える事が想定されますので、慎重な議論が必要であります。

◆ 酪農ヘルパー募集にあたり、組合の名前では来ない。JAというネームバリューで募集すれば人の集まり方が違つと考える。JAで採用し、ヘルパーのセクションに

異動させるなどできないか。
◇ 現在、職員を採用する際には総合職として募集しているが、ヘルパーに特化した専門職として採用する場合は、色々な角度から待遇改善の検討が必要となります。費用等を試算した中で各地区のヘルパー組合と協議しながら取り進めたい。

13. 専門職員を置く方針にJAの姿勢が見受けられない。ヘッドハンティングしても早急に対処願いたい。専門職員を酪農センターに置くような構想を示して頂きたい。

14. 平成21年に畜産手数料がアップしたが、農協経営も安定してきたことから、畜産手数料を下げてほしい。

◇ ここ数年は農協経営が安定し剰余金等を出しているが、金融部門の利ザヤの低下等により、今後の農協経営は厳しい状況が予想されますので、ご理解願いたい。

15. 資材課は3名の職員で運営しているが、クミカン訂正等の事務ミスの多さで現在の体制では職員数が不足しているのではないかな。

◇ 7月に資材課職員1名が退職し、募集をかけても応募がないため、営農生産課が応接対応をしておりますが、資材課職員1名を新たに採用することができました。

【生産販売部関係】

1. 労働力不足の対策として、農協全体で外国人実習生等の活用を検討したい。

◇ (要望)

2. 契約南瓜の精算が遅い為、概算払いをする等、対応願いたい。

◇ 反収増加に伴う契約数量の超過や歩留まり等を要因に、価格交渉が難航し、精算が遅延しましたことをお詫び致します。今後は概算払い対応を含め、早期な精算に努めます。

3. 新野菜広域流通施設の進捗状況は？

◇ 平成32年の春稼働に向け、現在、建設用地では地盤を強化する為、盛土作業中です。今後、営農センターの集約や資材の物流センター等の建設も検討して参ります。

4. 今年産米の価格について教えて頂きたい。

◇ 全国的な新規需要米や麦等への転作の取組により、需給が締まり、主要である「ふっくりんこ」で15000円(俵)以上となっており、東日本大震災時以来の水準に近づいています。

5. 米の生産調整廃止後における加工米の取扱いはどうなるか。

◇ 北海道としては「生産の目安」を決定して、各再生協議会(市町村)に対し主食米や加工米の数量、面積の配分がされる予定となっています。これまでは国が各都道府県に配分後、道から各市町村に配分しておりましたが、30年度から道の「生産の目安」決定後、各市町村に配分されることとなります。

6. 「ゆめぴりか」種子について、年々配分が減少しているが、どのような配分ルールになっているのか？

◇ 種子配分については、道米対ルールに基づき、低タンパク米比率や1等米比率が基準となり配分されます。尚、前年配分の90%は固定されています。

【(株)新はこだて協同関係】
1. 燃料について、他のスタンドより安く販売して欲しい。
◇ 地域の市況を睨みながら、極力安く販売しております。ご理解を願います。

2. 機械センターで自動車の整備も積極的に展開して欲しい。

◇ 施設の整備コストや免許の取得など、自動車整備は難しいものと判断しております。

【その他関係】

1. 組合員の口頭での要請・疑問・質問を雑誌レベルで当該職員でとまることなく、役員まで声が届くよう希望する。

◇ (要望)

2. 組合員の意見が響かないJAでは困る。組合員は責任をもって発言しており、真摯に受け止めてほしい。

◇ (要望)

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のおトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

昨年11月21日に札幌市で開催

した「JA北海道大会実践フォーラム」では、

JA北海道大会(平成27年開催)の決議事項の実践機運を高めることを目的に、『新規担い手倍増』と『道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりと准組合員制度』をテーマに取り上げ、JAの実践事例発表とパネルディスカッションにより、『担い手受け入れへの地域合意形成』と『准組合員との関係強化』の大切さなどを再認識する場となりました。



JAによる事例発表の様子

JA北海道信連

昨年11月に

「食」と「農」



をテーマに開催された「北海道アグリ・フードプロジェクト」に参加しました。当日は、キャンペーン

チラシの配布などでJAバンク北海道や「ドーン貯金キャンペーン」等のPRを行ったほか、口座開設を予約された方に「ちよリスブランケット」をプレゼントしました。今後も積極的にイベント等へ参加し、JAバンクのPRを通じて、サポーターづくりに取組んで参ります。

ホクレン

道産牛乳・乳製品の消費拡大を目的に酪農家の拠出金で

継続的に実施している「ミルランド北海道」事業の一環として、東京都武蔵野市吉祥寺の商業施設「コピス吉祥寺」に期間限定ショップ「MILKLAND HOKKAIDO TOKYO」(平成29年11月15日〜平成30年3月25日)を開催し、北海道酪農を広くPRしております。



会場では北海道の酪農家が実際に訪れ、来場者と交流するイベントも毎月開催しています。

JA共済連北海道

2月5日から12日まで開催される「第69回さっぽろ雪まつり」

7丁目会場にて、平成29年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品65点を展示します。JAとJA共済連北海道は、交通ルールの大切さや交通安全に対する願いが描かれた小・中学生の皆さんの作品を通して、交通事故防止の意識づくりにつなげたいと考えています。



昨年の会場の様子

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



みんなのまるめ即広場



数独®ニコリ
二重枠に入った
数字の合計は？

例

Q.

9	3	2	4	8
2	4	6	8	1
6	8	1	5	4
8	1	3	7	2
5	6	7	4	2
1	7	9	4	2
2	3	8	6	4
9	4	1	5	7

A.

7	9	5	3	2	1	6	4	8
3	2	4	7	6	8	1	9	5
6	8	1	5	9	4	3	7	2
8	1	9	6	3	7	5	2	4
4	3	2	1	5	9	8	6	7
5	6	7	4	8	2	9	3	1
1	7	8	9	4	3	2	5	6
2	5	3	8	7	6	4	1	9
9	4	6	2	1	5	7	8	3

ルール

- (1) 空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- (2) タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

	3	5	4	8				7
		2	7		5	4		1
7		4		1		6	5	
5		9	3				7	
	4		5	7			3	
	7	8		4	1	5		2
		1		2	7			
6					4	7		5
8	9			5	3	2	4	

プレゼント
クイズの正解者の中から抽選で ③ 名様に、以下の ② 種類からお好きな商品を ③ 袋お送りします。
希望のプレゼントをご記入ください。

農協ラーメン (1袋2食入り) あっさぶの豆 (1袋110g入り)



あて先
クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
JA新はこだて企画室 FAX:0138-77-5566
✉ E-mailアドレス akinori.nakata@ja-shinhakodate.com

↓応募用紙はこちら(切り取ってハガキにそのまま貼ってね。)
応募締め切り 3月20日(火)(当日消印有効)
※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。※コメントのないものは無効とさせていただきます。

こたえ

ご希望のプレゼント ※下記のいずれか1つに○を付けて下さい

農協ラーメン・あっさぶの豆

〒	—
住所	
氏名	年齢
ペンネーム	才
組合区分	TEL
正組合員・准組合員・その他 ※○を付けて下さい	

コメント ※広報誌へのご感想やご意見・ご要望、身近なできごとなどについて教えてください。

キリトリ線

今月号の当選者

今月は12件の応募があり、厳正な抽選の結果、次の3名の方が当選となりました。

前回の答え
かなで〜る

クイズ当選者

せたな町 くりりんさん
八雲町 カズPさん
上ノ国町 ノンノ1958さん

読者の声

たくさんのご応募、ありがとうございます。

- 七飯町 えみちちゃんさん
後継者の頑張る記事が心強い限りです。
- 八雲町 ヒロポンさん
理事会報告の中で何か一つでもよいから決まったことを書いてもらえないだろうか。
- 八雲町 さっちちゃんさん
江差や森の農家の情報がわかり、「となりの農家さん」はとても興味深かったです。
- せたな町 くりりんさん
例年になく大雪で毎日の雪かきが大変です。でも、筋トレだと思えば耐えられますよ!
- 北斗市 おていちちゃんさん
今年の大雪にはうんざりです。除雪作業の方、配達の方お疲れ様!!
- 八雲町 カズPさん
えすぼわーの毎回楽しんで読ませて頂いています。
- 北斗市 やまちゃんさん
ハウス周りの除雪で疲労困ぱい。春よ早く来い。
- 兵庫県 がっちちゃんさん
「ホウレンソウとジャガイモのチーズ焼き」美味しそうですね。
- 上ノ国町 ノンノ1958さん
平昌五輪開幕、頑張れ日本!
- 乙部町 あっちゃんさん
ステップアップ楽しみにしています。今月も材料を買って来てすぐ作りました。出来栄えますますカナ

理事会開催報告

第1回理事会議案(定例)

- 日時/平成30年2月23日(月)10時30分
- 場所/北斗市総合分庁舎

報告事項

- (1) 平成29年度第4四半期内部監査報告について
- (2) 平成29年度内部監査年間業務活動報告について
- (3) 金融機関貸付の実行について(案件1)
- (4) 金融機関貸付の実行について(案件2)
- (5) 利益相反取引に係る包括承認貸付の実行報告について
- (6) 組合員の異動について
- (7) 平成29年度決算(協新はこだて協同)について
- (8) 平成29年度クミカン精算状況について
- (9) 予約取りまとめ分パイプハウス類の指名競争入札方式導入による資材仕入の実施について
- (10) 遊休資産の処分状況(平成29年度末現在)について
- (11) 第4四半期の資金運用状況について

議案

- 第1号 平成30年度経営定期点検実施計画について
- 第2号 役員選任実施要領の一部変更について
- 第3号 女性参与手続の設定について
- 第4号 理事者への貸付について
- 第5号 (想) 抵当権一部抹消の承認について
- 第6号 定款第28条第7項に基づき学識経験理事候補者並びに学識経験監事候補者及び定款第28条第6項の規定に基づく監事候補者の推薦について
- 第7号 平成29年度決算について
- 第8号 職員への期末手当の支給について
- 第9号 平成29年度剰余金処分(案)について
- 第10号 平成30年度事業計画(収支)の一部変更について

第16回通常総代会開催のご案内

第16回通常総代会を下記日程により開催致します。
総代皆様のご出席を賜りますよう宜しくお願い致します。
◇日時:平成30年4月13日(金)午前10時~
◇場所:北斗市総合文化センター「かなでーる」大ホール
◇議案:平成29年度事業報告 他



総代の役割とは...

JAの運営は組合員全員の総意に基づいて行われなければなりません。そのためにJAとしての統一した意思を決定する場が「総代会」です。
各地域より選出された「総代」は、総代会においてJAの運営方針などについて議論を行い、議決権を行使します。正組合員の中から選出された総代は、いわば日本における国会議員のような存在。組合員の代表としてJAの将来を決定する大切な役割を担っています。



知って納得JA
一協同組合の力一

Q JAグループが広報活動をしているのはなぜ?

A JAの事業や活動を紹介し仲間の輪を広げるためです。

JAグループの広報活動には二つの目的があります。一つはJAの組合員の皆さんに、JAの事業や活動を知らせること。もう一つは、地域の皆さんにJAの取り組みを知らせることです。

JAではさまざまな事業や活動を行っており、JAの広報誌や支店だよりなどを通じて地域の皆さんにお知らせしています。また、日本農業新聞や、家の光協会の定期刊行物などを通じて、全国のJAの仲間の取り組みも伝えています。

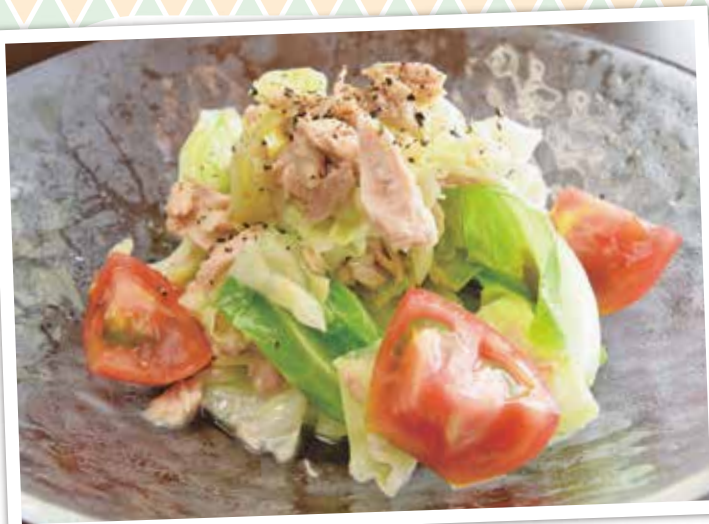
そして、JAの事業や活動は、地域の皆さんも幅広く利用・参加することができます。地域を支えるJAの取り組みをより広く知ってもらい、地域に仲間の輪を広げる。これもJAグループの大事な広報活動の目的です。

(監修=広島大学 助教 小林元)

組合員が活動する姿で
“協同組合”を伝えよう



耕そう、大地と地域の未来。



料理楽しく ステップアップ



「キッチン晴人」のオーナーシェフ
永井 智一（ながい ともかず）

「キッチン晴人」のオーナーシェフ。
1975年茨城県水戸市生まれ。高校卒業後、都内のすし店で修業後、帰郷し懐石料理を学ぶ。2013年12月に畑とつながるをコンセプトとした「キッチン晴人」をオープンし、地元農産物を生かした料理を提供中！

キャベツとツナのサラダ ～アンチョビ風味

作り方

- (1) フライパンにオリーブ油・ニンニク・アンチョビフィレを入れ、弱火で香りを出し、軽く油を切ったツナ缶を入れ、火を止める。
- (2) 鍋に湯を沸かし、塩少々を入れ、ざく切りにしたキャベツをさっとゆでざるにあげる。
- (3) ボウルにキャベツを入れ、(1)とあえて皿に盛り付ける。トマトを飾り、こしょうを掛け出来上がり。



point

キャベツが温かいうちにあえると味がよくなります。

材料(2人分)

キャベツ	1/4個
ツナ缶	1缶
アンチョビフィレ	3枚
ニンニク(みじん切り)	小さじ1
トマト	1/2個
塩・こしょう	適宜
オリーブ油	大さじ1

編集後記

1月から2月にかけて各組合員組織の総会が開催されています。私もいくつかの総会の取材に行かせてもらいましたが、各組織の事業活動内容を見ると、活動内容が発信されていないだけで素晴らしい活動をしている組織が多いことに気づきました。

広報担当として情報収集のアンテナを張り巡らせ、素晴らしい活動をたくさん発信し、JAの魅力が伝えられるよう、さらに頑張っていきたいと思います。

(明)

facebookページ更新中！

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。



JA新はこだて facebook

検索



まるめ郎アルバム



題名:マルメロード第62章
Day:2018.2.11



あぐりへい屋の鍋まつりに行ってきました！
鍋を食べて、カラダの芯まで温まったよ！

緊急時のご連絡先

※業務時間内
(平日9時～17時)には
ご契約の支店にご連絡ください。



お車の事故・トラブル
☎0120-258-931
(JA共済事故受付センター)

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難
☎0120-944-904
(JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター)

お車のレッカー・ロードサービス
☎0120-063-931
(JA共済サポートセンター)

JAクレジットカードの紛失・盗難
☎0120-159-674
(三菱UFJニコス株式会社盗難紛失受付センター)

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。